

但馬農高生、杞柳細工を指導

神戸で兵庫食農甲子園



但馬農業高のブースで、杞柳細工を体験する人たち＝神戸市中央区

農水産関連の学科を持つ県内の12の高校が集まる「第2回兵庫食農甲子園」が30日、神戸市中央区の神戸元町商店街で開かれた。各校はアーケードの下にブースを設け、生徒らが校内の農場で収穫した農作物を販売したり、地元の工芸品作りを指導したりした。

食農甲子園は商店街の活性化と各校のPRがねらいで、昨年に続き2回目。

県立但馬農業高（養父市）は、コリヤナギの枝を編んで作る豊岡の工芸品「杞柳細工」を来場者に教えた。1千年以上の伝統があることされ、生徒らは学校で染色した枝を使ってかご

を作る方法を指導。大阪市の小林信夫さん（50）は「徐々にできあがっていく過程が面白い。肌触りも良く、自分の好きなように作れて楽しい」と話した。

県立香住高（香美町）は、地元の香住漁港などにあがったアジやキス、ハタハタなどを高校で缶詰や干物に加工し、販売。生徒らは大きな声をあげて客を呼び込んでいた。（石塚大樹）

平成27年
5月31日
朝日新聞